

		担当部課等名	産業振興課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	2. 「二宮ブランド」の開発と活性化				
分野別方針	(5) 特産品の普及と二宮ブランドとの連携		実施計画事業	特産物普及奨励事業 (No.54)				
予算等事業名	特産物普及奨励事業 (農業再生事業)							
目的	二宮の特産物の普及を図る。							
内容	二宮の特産物である、湘南ゴールド、落花生等の普及を図る。							
根拠法令・条例等	二宮町特産物普及奨励補助金交付要綱							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価 (10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由					

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由					

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない (休止・廃止)				
	【説明】				

総合評価

実績	特産物普及奨励事業補助金 (落花生、オリーブ)				
中間評価との相違点	—				
事業指標 (数値指標)		特産物普及奨励事業補助金 (落花生、オリーブ) 申請件数			
前期 (27年度) 目標値	① 落花生普及奨励補助金 生産奨励: 6件 / 出荷奨励: 6件 ② オリーブ普及奨励補助本数: 150本		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
単位:			落花生普及奨励補助金: 申請実績値より (現状維持) オリーブ: 農業所得年次計画より		
	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
実績値	① 落花生普及奨励補助金 生産: 4件 / 出荷: 4件 ② オリーブ普及奨励: 74本				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		2,780	2,146				
財源内訳	一般財源	2,780	1,946				
	国庫支出金						
	県支出金		200				
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	B
	【説明】 特産物に付加価値を付けた商品づくりを行い、二宮ブランド事業に取り組むため。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	【説明】 特産物に付加価値を付けた商品づくりを行い、二宮ブランド事業に取り組むため。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 落花生種子及びオリーブ苗木の普及数という側面から一定の成果は出ている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	B
	【説明】 落花生種子及びオリーブ苗木の農業への配布等町が実施しており、目に見えない経費がかかっており、改善が必要。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 落花生種子及びオリーブ苗木の普及数という側面から一定の成果は出ているものの、今後は栽培の側面でも成果を出す必要がある。	
今後の方針(課題・意見等を簡条書き)	落花生種子及びオリーブ苗木の普及数という側面から一定の成果は出ているものの、今後は栽培の側面でも成果を出す必要がある。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	オリーブ栽培の普及を継続して推進する必要がある。		
今後の方向性	収穫に向けて、生産者、加工業者、販売業者などを含めた組織を立ち上げ、方向性を定めていく。		